

北海道・札幌にてウィンタースポーツ(スキー・スノーボード)を学びました

健康科学研究室のフィールド・ワークは、2026年2月23日から26日にかけて、北海道・札幌に行ってきました。このフィールド・ワークの目的は、「ウィンタースポーツ(スキーまたはスノーボード)の技術習得と雪国の生活様式・習慣を観察すること」でした。

初日は札幌市に到着後、とりあえず新千歳空港でラーメンなど早い昼食を終え、午後2時前ころにホテルに到着。荷物だけを預け、すぐに北海道神宮へ向かい、正式参拝と北海道神宮についての説明を受けました。その夜は、有名な回転寿司にいくものの、あまりにも人気過ぎて2時間待ち…。結局、学生たちは待つのをあきらめました。

2日目は朝8時にはホテルを出発し、公共交通機関(電車とバス)を使ってテイネスキー場(1972年冬季オリンピック会場)へ向かいました。電車で札幌駅から手稲駅まで20分、手稲駅からスキー場まで20分、電車・バスの待ち時間を入れても60分程で、街の中心地から規模の大きいスキー場まで行けるのが北海道の凄いところ。札幌市にはこのスキー場以外にも、公共交通機関を使って60分以内で行けるところが他にも数件あります。スキーやスノーボードが生活の一部になっています。

さて、テイネスキー場では現地スキースクールにてスキーまたはスノーボードのレッスンを受けました。技術レベルに応じて班分けされますが、プライベート・グループ・レッスンではなく、一般のスクール生と一緒にレッスンを受けました。全くの他人と一緒に、実技レッスンを受けるという経験がほとんど無いので新鮮だったかと思います。また、一般のスクール生の多くは、年間パス(リフト券もスクール券も)を持っていて、週に何度も通われていました。さらには、地元の小学生が体育授業の一環で、スキーの授業を受けていました。もちろん体育授業の一環ですから全員参加です。札幌の小学校の先生はスキーもできないといけないので大変ですね。

3日目は全員で一緒に同じゲレンデをスキー・スノーボードで滑ろうかと予定していましたが、思いのほか技術差があり、結局、バラバラで滑ることに。全員の滑りを見るのができず残念でした。この3日目、初心者にとっては、普段使わない筋肉や緊張もあってか、かなり疲労が溜まっていたようで、午後早々に切り上げる者や体調不良者も。経験者は昼食も取らずに5時間ほど楽しみました。スキー・スノーボードの後は、サッポロビール園でジンギスカン料理をいただきました。全身、煙まみれになってホテルに帰ってきました。

最終日は、飛行機の搭乗までは、市内を観光したり、お土産を購入したり、札幌グルメを堪能したり、各々思いのままに楽しみました。両手いっぱいにお土産を抱えて、無事、伊勢に戻ってきました。





Field Work @ SAPPORO

